

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●天皇賞(秋)はアーモンドアイが優勝

10月27日(日)に行われた天皇賞(秋)(G I)では、アーモンドアイ(牝4歳/美浦・国枝栄厩舎)が1番人気に応じて優勝しました。前走・安田記念から中146日の勝利で、これは天皇賞(秋)が芝2000mになった1984年以降では、1988年タマモクロス、1990年ヤエノムテキの中139日(いずれも前走は宝塚記念)を超える最長間隔での勝利となります。

### ●戸崎圭太騎手がJRA年間100勝を達成

10月26日(土)の4回東京8日・第8レースではエトワールが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、自身7年連続7回目、川田将雅騎手、C.ルメール騎手に続き本年3人目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●藤田菜七子騎手が新潟競馬リーディングジョッキーに輝く

10月27日(日)をもって3回新潟競馬が終了し、9勝をあげた藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)が開催リーディングジョッキーとなりました。女性騎手が開催リーディングを獲得するのは、JRA史上初めてのことです。また本年の新潟競馬は全日程が終了し、1回新潟・2回新潟と合わせて20勝をあげた藤田菜七子騎手が新潟競馬リーディングジョッキーも獲得しました。女性騎手が競馬場の年間リーディングを獲得するのもJRA史上初のこととなります。

### ●小島太一騎手が引退

小島太一騎手(美浦・フリー)が10月31日(木)をもって騎手を引退しました。JRA通算成績は1189戦44勝で、今後は美浦・萩原清厩舎で調教助手となる予定です。

### ●ディープインパクト産駒が連続週勝利記録を更新

10月26日(土)の4回東京8日・第1レースではセントオブゴールドが1着となり、2015年2月7日(土)から続くディープインパクト産駒のJRAレース連続週勝利記録が247週となりました。これは2002年3月9日(土)から2006年11月26日(日)にかけてサンデーサイレンス産駒が記録した246週を更新するJRA新記録となります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●キメラヴェリテが北海道2歳優駿(門別)を逃げ切り勝ち

北海道2歳優駿(Jpn III、10月31日、門別、1800m)は、先手を取った6番人気のキメラヴェリテ(福永祐一騎手、牡、父キズナ)が1馬身半差で逃げ切り、重賞初制覇を果たしました。アベニンドリーム(北海道)が2番人気のピオノをハナ差抑えて2着に入り、マイネルアストリアは5着、1番人気に推されたヨハネスボーイ(北海道)は8着、ラーラクロリは最下位の14着に敗れています。

### ●浦和のJBCにオメガパフューム、コパノキッキングらが参戦

JBCクラシック(Jpn I、11月4日、浦和、2000m)は、小回りコースが鍵も、帝王賞1、2着のオメガパフューム、チュウワウイザードの再戦となるものと思われ、アンデスクイーン、ロードゴラツ、クインズサターンまでが争覇圏内と考えられます。

JBCスプリント(Jpn I、11月4日、浦和、1400m)は、コパノキッキング、サクセスエナジー、ノブワイルド(浦和)の3頭が主力を形成、ミスターメロディ、ノボバカラが続き、ファンタジストは初のダートが課題となりそうです。

JBCレディスクラシック(Jpn I、11月4日、浦和、1400m)は、ヤマニンアンプリメが中心、以下ファッションスタ、ゴールドクイーン、モンベルデュ、レッツゴードンキの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1コックスプレート〜リスグラシューが完勝

10月26日にオーストラリアのムーニーバレー競馬場で行われたG1コックスプレート(3歳上、芝2040m)は日本から参戦したリスグラシュー(牝5歳、父ハーツクライ、栗東・矢作芳人厩舎)が後方待機から外を回って追い上げると、直線でも鋭く伸びて優勝。1番人気(JRA・現地とも)に応じて、昨年のエリザベス女王杯、今年の宝塚記念に続く3つ目のG1制覇を果たしました。鞍上のD.レーン騎手と馬主の(有)キャロットファームは10月19日にメルドグラスで制したコーフィールドCに続く2週連続のオーストラリアG1制覇となりました。1.5馬身差の2着に地元の3歳馬で、G1豪シャンパンSの勝ち馬キャステルヴェキオ。3着にニュージーランド調教馬で、前走G1エプソムH2着のテアカウシャーク。もう1頭の日本調教馬クルーガーは5番手追走から失速して13着に終わりました(レース後の検査で喉の疾患が判明)。コックスプレートはオーストラリアの春シーズンを代表する中距離戦。日本調教馬の優勝はこれが初めてのことです。